

JFA グリーンプロジェクト
ポット苗方式芝生化モデル事業

2017 年度 ポット苗無償提供 募集要項

公益財団法人日本サッカー協会
2016 年 12 月 22 日



ポット苗方式芝生化モデル事業
2017 年度 ポット苗無償提供 募集要項

1. 概 要 ポット苗 500,000 株を無償提供（グラウンド 17.5 面分／125,000 m²相当）
2. 対 象 下記の団体がグラウンドや校庭等の敷地 2000 m²以上（但し園庭は 200 m²以上）を芝生化する場合
 - 1) 都道府県サッカー協会
 - 2) 法人格を有するサッカークラブ／スポーツクラブ
 - 3) 地方自治体
 - 4) 幼稚園・保育園
 - 5) 学校（公立・私立を問わず）
 - 6) その他、社会福祉法人など
3. 申 請 者 申請者は、上記 1) ～ 5) の団体の長とする。
4. 応募期間 2016 年 12 月 22 日（木）～ 2017 年 2 月 17 日（金）
5. 応募方法 別紙「申請書」に必要事項を記入の上、下記まで郵送して下さい。
6. 応 募 先 公益財団法人日本サッカー協会 ポット苗方式芝生化モデル事業係
〒113-8311 東京都文京区サッカー通り（本郷 3-10-15）TEL：03-3830-2004（代表）
7. 応募条件
 - 1) 芝の管理（芝刈り、散水、施肥）を実行できる体制を整えること。
 - 2) 500 m²以上の芝生化の際は、申請者側が散水用スプリンクラー、芝刈り機を用意できること。
特に散水用スプリンクラーは芝生化にあたり非常に重要な設備です。本要項の「管理のポイント」をご参照の上、必要な設備を整えて下さい。
 - 3) ポット苗の送料（※注 1）、苗植えの人件費は申請者側が負担できること。
 - 4) 苗植えにあたっては、JFA がインストラクターを派遣する。
 - 5) 6 月初旬から 7 月初旬までに苗植えができること。
 - 6) 申請者が芝生化する敷地の所有者と違う場合は所有者の許可があること。
 - 7) 小学校の場合は児童 1 人に対して 15 m²、幼稚園・保育園の場合は児童 1 人に対して 10 m²の芝生化面積を有すること。
 - 8) 苗植え後の生育・管理についてのレポートの提出ができること。
 - 9) 苗植え実施後（※注 2）、JFA が行うアンケートに回答すること。
※注 1 芝生の送料は、提供する芝生の量や場所にもよるが、2 万円～15 万円程度になる予定。
※注 2 アンケート実施時期は 10 月頃を予定。
8. 審 査 応募者多数の場合は、応募書類等を審査の上、選定を行う。選定結果は、2017 年 2 月下旬に申請者へ通知する。必要な場合は JFA ポット苗方式インストラクターが現地調査等を実施するほか、管理方法等を伝えるため、所定の場所への視察等をお願いする場合があります。

● 事業概要 ●

2016年12月 募集開始

2017年1月

2月

応募締切

3月

提供決定

500,000 株の芝生の苗を無償提供！！

JFA グリーンプロジェクトの一環として、グラウンド 17.5 面分（125,000 m²相当）の芝生の苗 50 万株を無償で提供する芝生化推進事業。「ポット苗方式」による芝生化とは、ポットの中で 45 日間ほど育てた芝生（ティフトン）を田植えのように 50cm 間隔に植えるもので、2 ヶ月ほどでその間隔が埋まり、一面の緑の芝生になります。ティフトンの生育が早い特性を生かして、日常の芝刈り、散水、施肥を充分に行えば、大掛かりな工事をすることなくグラウンドを芝生化できます。

4月～5月初旬に苗づくり（JFA）



約45日で苗の完成
各地に出荷



4月

苗づくり開始

5月

苗の育成（約45日）

6月

苗の発送開始

各地で苗植え
JFA がインストラクターを派遣



7月

植付け

養生

（植付け後45日程度）

※立入禁止の必要はありませんがイベントはできません

8月

芝刈り開始

（植付け後30日後）

田植えのように
50cm間隔で植える

9月

植付け後約2～3ヶ月で
一面みどりの芝に！



10月

オーバーシード

● ポット苗方式による芝生化の特徴 ●

スタジアムのような綺麗な芝生とは違いポット苗方式は費用をかけずに最低限の芝生を創る手法で、芝生の苗を植えてから 2 ヶ月後には一面みどりの芝生になります。苗植えには人手がかかりますが、スタジアムの芝生を整備するのに比べ、1 m²あたり 100 円～1,000 円程度と各段に安く芝生化する手法です。維持管理も必要最低限とし、雑草は取り除かず、週に 1 回の芝刈り（刈放し／刈った草を集めない）と年に数回の施肥と秋に冬芝の種をオーバーシードするだけです（勿論、除草剤や農薬は使いません）。けれども、クレーのグラウンドと比べるとその管理には手間は必要で、特に夏には毎日の散水が必須です。なお、ポット苗方式では、ティフトン 419（バニユーダグラスの一種）という暖地型の芝生を用いて芝生化する手法です。2009 年度、青森県の弘前市で実験し、十分に生育しましたが、東北地方や北海道などで冬の最低気温がマイナス 15℃以下となる寒冷地では上手く生育しない可能性がありますので、申請書には対象地の正確な所在地を明記してください。

◆馬淵小学校（滋賀県近江八幡市）芝生化面積 7000 m²（2012 年度芝生化）



植付け 1 ヶ月後の模様
撮影日：2012 年 6 月 23 日



移植後約 3 ヶ月の芝生の模様
撮影日：2012 年 9 月 20 日

● 「ポット苗方式」によるポット苗の移植方法 ●

植付け当日の朝、必ずポット苗に灌水して土を湿らせて下さい。写真のように 50cm 間隔で深さ 6～7cm の穴をあけて下さい。子どもと一緒に作業をする際は、事前準備の段階で、穴をあける目安としてラインを入れておくとう便利です。また、固いグラウンドに穴をあける作業はとても大変ですので、ある程度は事前準備の段階であけておくとう効率的です。苗の植え付けは、写真のように掘った穴に一つの苗を移植します。苗箱から一株ずつ苗を取り出し、土をつけたまま穴に入れて、上から足で抑え、周辺の土を株もとによせてもう一度足で抑えつけます。植付け後、たっぷり灌水し、化成肥料（14-14-14%）20 g / m²を目安に施肥をします（グラウンド全面に撒いて下さい）。なお、芝生化しようとする場所で、極端に水はけが悪い部分がある場合などは、できる範囲で、あらかじめグラウンド全体に 1～1.5%の表面勾配をつけることをお勧めします。

資料提供：NPO 法人 グリーンスポーツ鳥取



①50cm間隔にラインを引き、苗箱(25株)を配置する



②移植鏝、小鍬(地面が硬ければ唐鍬)で深さ5cm程度の穴を掘る



③ポット苗を1株ずつ穴に置いて、足でしっかりと踏みつける



④踏みつけた後、周囲の土をポット苗の周りに戻す



⑤移植当日はたっぷりと散水する

(ポット苗は地面より少し低いほうがよい)

● 「ポット苗方式」によるポット苗移植後の管理 ●

（校庭・園庭、空き地の芝生化の参考資料です。）

管理のポイント

1. 灌水
 - ①移植当日は水が浮き上がるほどにたっぷりと散水する。
 - ②移植後2ヵ月は毎日灌水して下さい。
 - ③梅雨明けから9月中旬までの雨が少ない時期は灌水を多くする。
 - ④10月下旬から4月までは原則として灌水は不要。

※夏の灌水は基本的に毎日の作業となります。人力では限界がありますので、スプリンクラー等の設備（次頁参照）を用意して下さい。
2. 施肥
 - ①ランナーの発生を促進する目的で、移植後2ヵ月間は月に2回の施肥を行う。
 - ※一回の施肥に必要な肥料の量は、窒素・リン酸・カリウムがそれぞれ14-14-14%の化成肥料を、1,000㎡あたり20kgを目安とします。（ティフトンの初期生育には多めの肥料を必要とします。）
 - ②移植後3ヵ月目からは、月1回の施肥を行う。
 - ③成長が停止する冬季（12月～3月）は原則として施肥しない。
3. 芝刈
 - ①移植後1ヵ月間は芝刈りをしない。
 - ②移植後1ヵ月から2ヵ月までは、高さ5cm、10日～14日間隔で芝刈りをする。
 - ③移植後3ヵ月目以降は、高さ4cm、4日～7日間隔で芝刈りをする。刈った芝は集めて捨てる必要なし。
 - ④10月下旬から4月までは芝の成長に合わせて芝刈り回数を減らす。
 - ※芝刈作業は週に1度は行います。下記を参考に適当な芝刈機をご用意ください。

芝生化面積	芝刈り機の仕様	金額の目安
1,500㎡以下	50cm 自走式（2.5～8cmの刈高で刈れるもの）	15万円
4,000㎡以下	100cm 乗用型（ " ）	60万円
8,000㎡以下	120cm 乗用型（ " ）	100万円
8,000㎡以上	120cm 乗用型（ " ）	200万円

冬芝のオーバーシーディング

冬芝のオーバーシーディングとは、冬の時期に休眠する夏芝（今回の場合はティフトン）の上から、冬芝（ライグラスを推奨）の種を撒くことにより、冬の時期でも、一面が緑の芝生を形成させる手法です。こうすることで、一年中緑の芝生を実現することができるとともに、冬の時期に休眠する夏芝の保護にもなります。夏芝は、11月頃～4月頃に休眠しますが越冬し、温かくなると活動を始め緑色になります。

◆ オーバーシーディング前後の芝生管理のポイント

1. 播種
 - ①播種の適期は9月中旬から10月中旬。芝生は寒地型の芝生（冬芝）の「ペレニアル・ライグラス」。
 - ②1,000㎡の芝生にオーバーシーディングするのに必要な種の量は40kgを目安として下さい。
 - ③ただし、播種後5日～20日の間は傷つきやすいので、この頃に運動会などのイベントがある場合は、播種をイベント後に遅らせるか、もしくはイベントを早期に繰り上げる。
2. 灌水
 - 種子の発芽には水分が必要となるので、晴天日は散水する。
 - （特に、9月中旬以前に早撒きする場合は発芽するまで毎日散水する）
3. 芝刈
 - ①播種直前には必ず芝刈り（通常よりやや低刈：高さ2cm～3cm）を行う。
 - ②播種後3週間までは傷つきやすいので、芝刈りは行わない。
 - ③播種後3週間目から芝刈り開始（1回目は高さ5cm）、その後7日～10日間隔で芝刈り（3cm～4cm）。
 - ④通常時の芝刈りの高さは原則4cm程度とし、2cm以下の低刈は避けること。
 - ⑤10月下旬から4月までは芝の成長に合わせて芝刈り回数を減らす。
4. 肥料
 - ①12月までには月1回の施肥を行う。
 - ②成長が停止する冬季（12月～2月）は原則として施肥しない。

留意事項 芝生の管理は必ず本マニュアルに基づき行われるものとします。

ご不明な点があれば事前にインストラクターまでお尋ね下さい。

(様式)
年 月 日

公益財団法人 日本サッカー協会
ポット苗方式芝生化モデル事業係 宛
※切：2017 年 2 月 17 日 (金)

団体名
(代表者名)

印

ポット苗方式芝生化モデル事業 申 請 書

ポット苗方式芝生化モデル事業 2017 年度実施要項に基づき、下記のとおり、ポット苗提供の申請をします。

◆ 芝生化しようとする場所

敷地の所有者	
施設名称	
種別	1. 幼稚園・保育園 2. 小学校校庭 3. その他の学校等の校庭 4. グラウンド 5. 公園等の広場 6. その他、空き地等
敷地の住所	
敷地全体の面積	m ² (学校等の場合は校庭・園庭等の面積を記入)
芝生化の面積	m ²
土壌の種類	1. 不明 2. 土 3. 砂 4. その他 ()
添付書類 右の 6 項目は必ず添付	☐ 敷地全景の写真 ☐ 芝生化しようとする部分の写真 ☐ 敷地全体の平面図 ☐ 周辺状況がわかる地図 (最寄駅等が分かるもの) ☐ 芝刈機の写真 ☐ スプリンクラーの写真

※ 添付書類は上記 6 つ全てを提出して下さい。芝刈機・スプリンクラー等未購入の場合は購入予定のカタログを添付して下さい。

◆ 利用 (予定) 状況

利用目的	1. 遊び場 2. サッカー 3. 野球等 4. 校庭・園庭
利用人数	人 (学校・幼稚園等の場合は児童の数を記入。その他は、一日の平均利用人数)
利用日数	日 / 週
利用時間	時間 / 日
利用年齢構成	1. 幼稚園児 2. 小学生 3. 中学生以上 4. 高齢者 5. 全年代
利用期間	1. 通年 2. 月 ~ 月

◆ 管理計画（分かる範囲でご記入下さい）

管理責任者名（注１）	
管理責任者 TEL	TEL： 携帯：
E-mail	
常駐管理者	１．有り ２．なし ３．外部委託
芝刈り機	１．手押し ２．自走式 ３．乗用型（刈幅： cm）
散水方法	１．ホース＋簡易スプリンクラー ２．埋設スプリンクラー ３．その他（ ）
施肥	回／年
オーバーシード（注２）	１．実施する ２．実施しない（理由： ）
その他	

(注 1)「管理責任者」とは、施設の長、代表者ではなく、**芝生管理の責任者**を指し、芝生管理体制等について JFA やポット苗インストラクターと調整を行なっていただきます。

(注2) オーバーシードとは、一年中緑の芝生にするため秋に冬芝の種を蒔くことですが、特別の理由がない限り実施して下さい。(1㎡あたりの経費 20～25 円程度)

◆ 苗植え希望日／苗の搬入場所

苗植え希望日	月 日～ 月 日
配達希望日	月 日 （原則、苗植えの 1～2 日前）
配達場所	〒
苗受取担当者名	
担当者 TEL	TEL : 携帯 :
E-mail	

※配達の時期は6月上旬～下旬を推奨しています。

※配達希望日はご希望に添えない場合があります。

◆ 申請者連絡先

団体名	
担当者名	
住所	〒
電話・FAX	TEL : FAX :
携帯番号	
E-mail	